

RACING MONITOR ***JC***

レーシングモニターDC

“BLITZ”-the ability to progress in parameter of the motor vehicle
Established in 1980,“BLITZ”has revolutionized the automotive industry

取り扱い説明書

BLITZ

レーシングモニター DC 目次

目次	1
安全上のご注意	2
はじめに	2
警 告	2
注 意	3
はじめに確認してください	4
最初に	4
製品の特徴	4
製品の構成と各部の名称	5
構成部品及び付属品リスト	6
RACING MONITOR DC の取り付け作業手順	6
取り付け上のご注意	6
取り付け方法	7
取り付け後の作動確認	9
レーシングモニターDC 初期設定値	10
RACING MONITOR DC を正しく使用していただくために	11
表示モードの切り替え	11
表示モード	11
<input type="checkbox"/> リアル表示	11
<input type="checkbox"/> ピーク表示	12
<input type="checkbox"/> ワーニング表示	12
ワーニング設定	13
<input type="checkbox"/> ワーニングインジケータモード設定	13
<input type="checkbox"/> ワーニング設定	13
<input type="checkbox"/> ワーニングの表示	14
レコード機能	17
リプレイ機能	17
LED 輝度調整	17
オールリセット	18
表示サイクル詳細モデル図	18
スイッチ機能と表示モード一覧	19
故障と思う前に	21
装着可能自動車と製品の仕様	21
本製品についてのご相談先	21
保証書	23
保証書規定	24

安全上のご注意

はじめに

- ・この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・この製品および付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けしないでください。
運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- ・この製品は、車両電源がDC12V車で車体(ボディ)アースの車両専用です。
DC24V又は12V・24V兼用車には使用しないでください。火災の原因となります。
- ・バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
また、製品の故障の原因となります。
- ・この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・運転者は走行中にこの製品の操作を行わないでください。
事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
- ・この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行って下さい。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- ・この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えたりしないでください。
作動不良の原因になる場合があります。
- ・この製品の加工・分解・改造は絶対に行わないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外にさせていただきます。
- ・高温になる場所や、水が直接かかる場所には、取り付けをしないでください。
感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちる事があります。
- ・過給圧の上げ過ぎには、注意してください。
過給圧を上げ過ぎると、エンジン・タービンを破損する恐れがあります。
過給圧の上げ過ぎによる不具合に関して、弊社は一切のその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

はじめに確認してください

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品を安全に且つ正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をよくお読みください。

製品の特徴

- ・ 本製品はレーシングメーターDCのライブユニット及びレーシングメーターDCのセンサー類を利用して、車輛の計4chの各データをデジタル表示に変更してデータ読み取りやすく向上させたデジタルマルチモニターです。
- ・ レーシングメーターDCのライブユニット及びセンサーを使用しているため、レーシングメーターDCをライブユニットの空きポートへ接続していただく事も、もちろん可能です。
- ・ 車輛から得られる情報をリアルタイムで表示でき、約90秒間の各4種のレコードリンク及びリプレイリンクが可能で、走行時の車輛状況が確認しやすくなりました。また、各チャンネルごとの多彩なワーニング設定やピークホールド機能などの便利機能も充実させました。
- ・ デザインはDC(デジタルコンパクト)シリーズのコンセプトを貫き、軽量且つコンパクトに仕上げました。
- ・ 車輛のデータを計4chにて表示。標準では加給圧表示、温度表示(2ch)、圧力表示です。

【レーシングモニター機能一覧】

データ	ch表示	測定範囲
BOOST	b	1.0～2.5hkPa
TEMP 1	c(上側に表示)	0～150
TEMP 2	c(下側に表示)	0～150
PRESS	P	0～10hkPa

BOOSTはバキューム配管からライブユニットに配管していただくだけです。

TEMPはTEMPセンサーで測定可能です。水温、油温のどちらにも対応できます。また、付属されているTEMPセンサー以外に、別売りのTEMPセンサー(#19210 ¥10,000)を追加接続する事で水温と油温を同時に測ることが可能です。

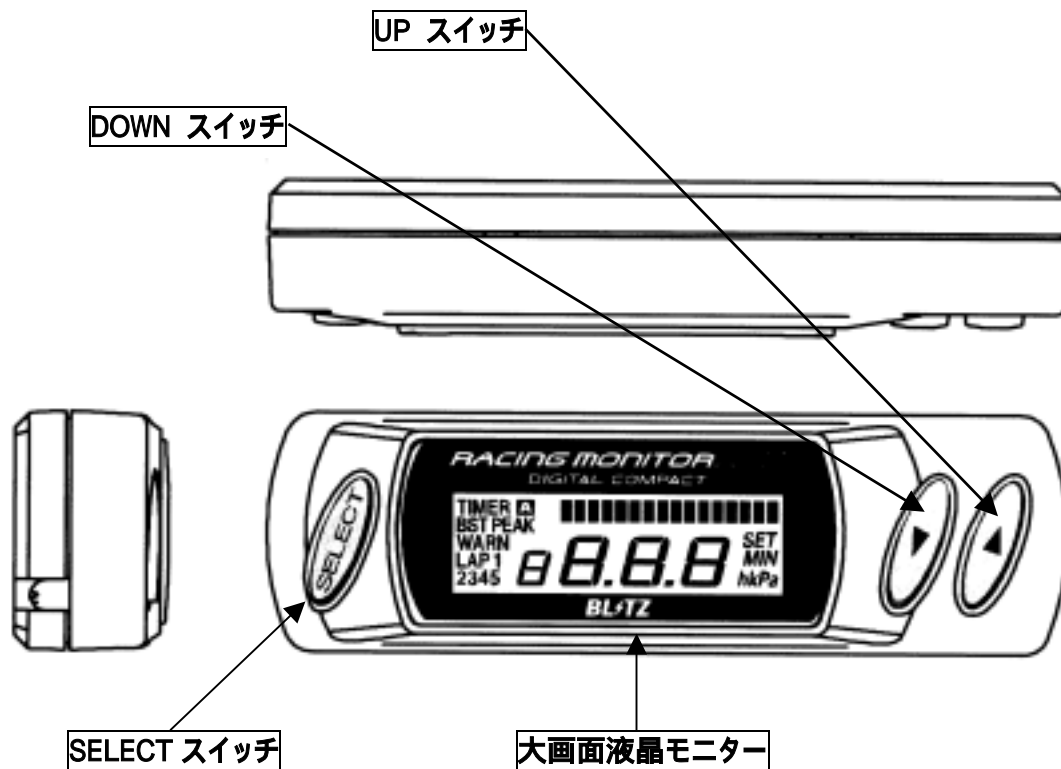
PRESSは別売りのPRESSセンサー(#19211 ¥10,000)を追加装着することで測ることができ、PRESSに関しては、さらに別売りの燃圧アダプターSET(#19551 ¥5,000)をご使用していただくと、燃圧も測定可能になります。

コントローラーは視認性、インテリア性を重視した大型LCDを採用。厚みはわずか16mm。取り付けしやすく、操作性に優れたコンパクトな表示器です。

LCD画面上部のバーグラフが各表示データに連動してリアルに変動表示します。

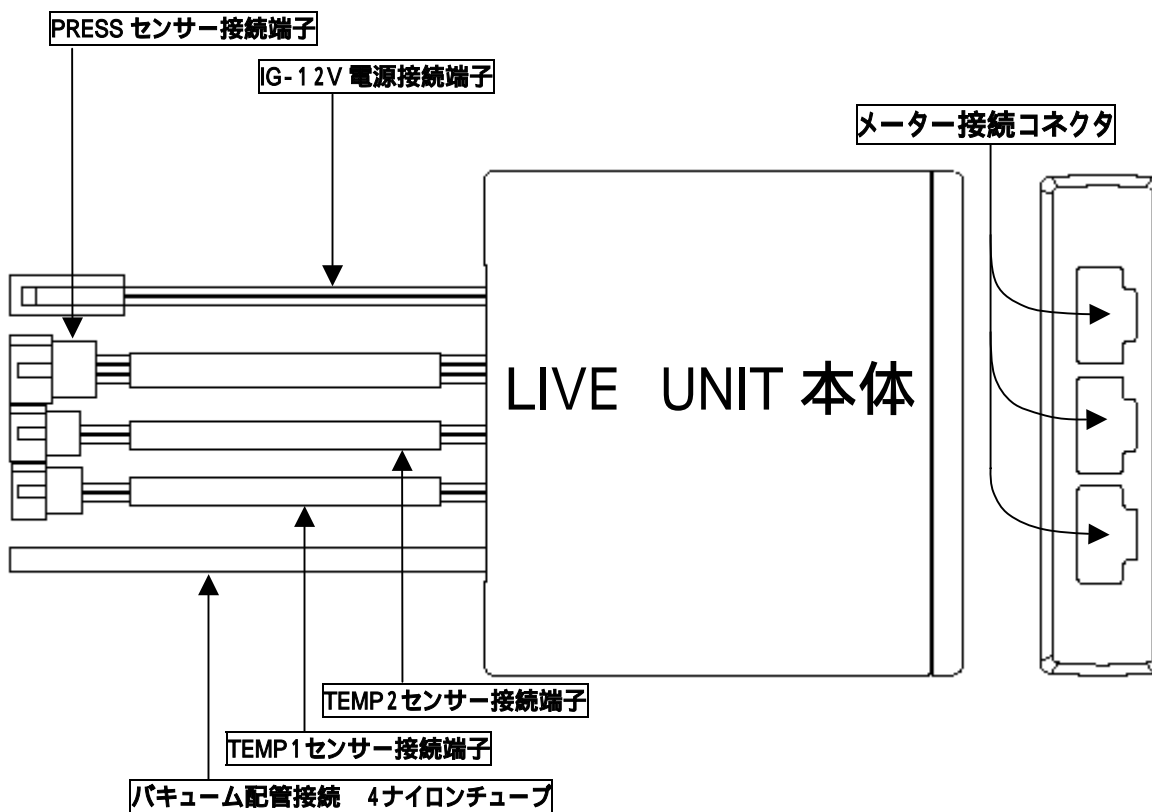
製品の構成と各部の名称

(1) 操作表示部



本体サイズ : 86(W) × 26(H) × 16(D)

(2) ライブユニット



構成部品及び付属品リスト

部品名	数量	仕様
レーシングモニターDC 表示部	1	
ライブユニット	1	1
電源接続用ハーネス	1	赤・黒1.5m、 1
ナイロンホース	1	4 × 2 m
ナイロンホースジョイント (ストレート)	1	4 - 4
ナイロンホースジョイント (3WAY)	1	4 - 4 - 4
TEMP センサー	1	ネジピッチ PT-1 / 8、 1
TEMP センサー中間ハーネス	1	3.5m、 1
両面テープ	3	50mm × 15mm
エレクトロタップ	2	
タイラップ 大	2	200mm
タイラップ 小	2	100mm
取り扱い説明書	1	保証書兼用

1 レーシングメーターDC と共通品

RACING MONITOR DC の取り付け作業手順

取り付け上のご注意

- 1 バッテリーのマイナス端子を取り外してください。
 - ・ショートなどによる電装部品の破損や火災を防ぎます。取り付けミスにより車両やその他機器が破損した場合、弊社は一切の責任を負いません。
 - ・カーオーディオやナビゲーションシステムなど、バッテリー電源にてバックアップメモリが失われる事がありますので事前にメモしておく事をお勧めします。
- 2 RACING MONITOR DC を付属の両面テープ等を使用して運転に支障のない場所へ取り付けてください。またエアコンの吹出口や直射日光の当たるダッシュボード上等温度の高くなる場所は避けてください。電子部品の作動温度の限界温度を超えた場合本体が作動不良を起こす場合や、ケースの変形等により操作に支障をきたす場合があります。
- 3 接続ハーネスの赤線をIGN + 12Vに付属のエレクトロタップを使用して接続して下さい。
- 4 黒線をGND (ボディーアース) が確実にとれる場所に接続して下さい。
 - ・電源はDC 12V車専用です。24Vには対応しません。
 - ・GND (ボディーアース) は確実に接地させてください。塗装がのっていたり、アースが不十分な場合は本体が正常に機能しない場合があります。

取り付け方法

操作表示機(コントローラー)

コントローラーの取り付け位置を決めて下さい。取り付け場所は、運転に支障をきたす様な場所や高温または高湿になる様な場所への取り付けは避けて下さい。取り付け場所が決まったら付属の両面テープでしっかり固定して下さい。

コントローラーから延びている配線の先にあるカプラーをライブユニットのメーター接続コネクタにしっかり差し込んで下さい。

差し込み位置は3箇所あるうちのどこに差し込んでいただいても構いません。

ライブユニット

ライブユニットの取り付け位置を決めて下さい。取り付け場所は、運転に支障をきたす様な場所や高温または高湿になる様な場所への取り付けは避けて下さい。取り付け場所が決まったら付属の両面テープでしっかり固定して下さい。

同梱されている電源用ハーネスのカプラーをライブユニットの電源カプラーに接続し、2本の配線をそれぞれ以下の場所に結線して下さい。

赤色 : メイン電源(IGN - ONで12Vかかる場所又はACC12V)

黒色 : GND(ボディーアース)

各センサー類

BOOST

スロットルバルブよりエンジン側のインテークマニホールドもしくはサージタンク(負圧から正圧までの全ての圧力を検出できる場所)から圧力を付属の 4ホースと3WAY 及びストレートホースジョイントを使用してライブユニット本体から出ている 4ナイロンホースに接続して車内に引き込んでください。また、スロットルバルブ付近から配管されますと正常な圧力が検出できない場合がありますので注意してください。イグニッション車輛は、フューエルプレッシャーレギュレータのバキューム配管に接続する事をお勧め致します。

TEMP

OIL TEMP として使用する場合

付属の TEMP センサーと TEMP センサーハーネスを接続し、TEMP センサーをオイルパンのオールドレンに取り付けます。取り付けの際は、メーターオプションパーツの『レーシングメーターDC 専用 TEMP フィッティング(別売)』を使用して取り付けして下さい。

WATER TEMP として使用する場合

付属の TEMP センサーと TEMP センサーハーネスを接続し、ラジエーターのアップパー側(純正水温センサー部)もしくは、弊社製品の『クーリングパフォーマー(別売)』を使用して取り付けさせていただく事をお勧め致します。クーリングパフォーマーの適合車種は、弊社商品総合カタログで確認して下さい。

TEMP センサーを取り付けたら、TEMP センサーハーネスの一端を車内に引き込み、ライブユニットの TEMP センサー接続端子に確実に差し込んで下さい。

TEMP センサー接続端子は、どちらでも接続は可能ですが、OIL か WATER のどちらか一方のみの TEMP を取る場合、通常は TEMP 1 に接続して下さい。両方の TEMP を同時に取られる場合はどちらに何を つないでいるかを確認しておいて下さい。

PRESS

OIL PRESS として使用する場合

エンジンブロックのオイルプレッシャーセンサー(純正装着部品)を外し、弊社別売り商品の『アタッチメントオイルデリバリー(#73103 ¥5,000)』を使用して、純正のオイルプレッシャーセンサーとメーター付属の PRESS センサーを取り付けます。

純正オイルプレッシャーセンサーの取り外しは、自動車メーカーの整備書または修理書を参照して下さい。車輛によっては PRESS センサーの取り付けが困難な場合があります。その場合は、別売りの『油圧アダプターSET(#19551 ¥5,000)』を使用し、PRESS センサーを別の位置に取り付ける様にして下さい。

PRESS センサーを取り付けたら、PRESS センサーハーネスの一端を車内に引き込み、ライブユニットの PRESS センサー接続端子に確実に差し込んで下さい。

FUEL PRESS として使用する場合

弊社別売り商品の『燃圧アダプターSET(#19559 ¥5,000)』を使用して取り付けして下さい。PRESS センサーを取り付けたら、PRESS センサーハーネスの一端を車内に引き込み、ライブユニットの PRESS センサー接続端子に確実に差し込んで下さい。

参考 WATER TEMP 及び OIL PRESS としてお使いいただく場合は、弊社の製品でオイルセンサーアタッチメント(適合車種設定有り、定価¥6,800 ~)をご使用いただくと取り付け、メンテナンスが大変便利です。

注意 取り付け作業は、エンジンを停止して完全にエンジンが冷えた状態を確認してから作業を行って下さい。作業事故もしくは怪我等の原因となります。

警告 本取扱説明書に記載してある注意事項を無視されて作業を行い発生したトラブルに関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。

取り付け後の作動確認

1. バッテリーのマイナス端子を接続してください。

- ・しっかり固定し走行中の振動等で外れない事を確認してください。

2. IGN - ON後約3秒間は、画面表示が となりバーグラフ上で2セグメントが流れた後、BOOST リアル表示画面になります。2回目以降電源を入れた場合は、IGN - OFFした時の画面になります。但し、前回OFFモードだった場合は、OFFと表示され約3秒後に消灯します。

- ・画面が表示されない場合は電源系統の異常もしくはコネクタの接触不良等が考えられます。もう一度テスター等で確認してください。

3. エンジンを始動し、接続しているセンサーの感知している測定値が表示されている事を確認し、実際に走行、または長めのアイドリングにより表示が変化する事を確認して下さい。各種設定は本取り扱い説明書を参照して正しく設定して下さい。接触不良もしくは取り付け不良の場合、各種測定値が表示されない又は異常値を表示する事があります。再度、電源、アース配線及びセンサー取り付け等の取り付け確認を行ってください。

RACING MONITOR DC 初期設定

レーシングモニターDC の製品出荷時は、下記表の通りに設定されています。設定を行わないと正常に起動しない項目もありますので、本取り扱い説明書を読んだ上で正しく設定を行うようにして下さい。走行中の設定変更は大変危険を伴いますので、設定を変更する場合は必ず車両が停止した状態で行って下さい。

設定項目	選択項目	初期設定値
表示画面	BOOST ・TEMP1 ・TEMP2 ・PRESS	BOOST
表示モード	リアル ・ ピーク ・ ワーニング	リアル
BOOST ピーク値	自動更新	0.00 hkPa
TEMP1 ピーク値	自動更新	0
TEMP2 ピーク値	自動更新	0
PRESS ピーク値	自動更新	0.00 hkPa
BOOST ワーニング設定	0.00 ~ 2.5 hkPa	OFF
TEMP1 ワーニング設定	0 ~ 150	OFF
TEMP2 ワーニング設定	0 ~ 150	OFF
PRESS Low ワーニング設定	0.0 ~ 10.0 hkPa	OFF
PRESS Hi ワーニング設定	0.0 ~ 10.0 hkPa	OFF
ワーニングインジケータ	セグメント ・ キャラクタ	セグメント
バックライト輝度設定値	0 (OFF) ~ 100	100

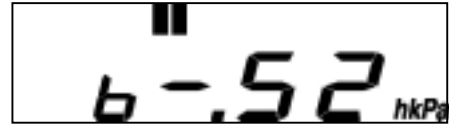
変更された設定や計測した記録は、IGN - OFFにしてもメモリーに保持されています。

レーシングモニター DC を正しく使用していただくために

操作方法

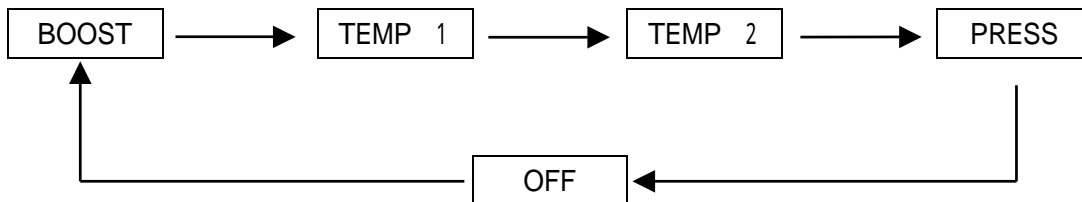
表示モードの切り替え

エンジンを始動し、レーシングモニターDC のコントローラー部液晶画面表示がリアル BOOST 表示モードになっていることを確認して下さい。



SELECT スイッチを押すと表示モードが変化しますので、表示したい画面に合わせて下さい。表示画面サイクルは以下の通りです。

下記の図に関しては、基本的サイクルを示したものですので、詳細は18～20ページに表示サイクル詳細モデル図とスイッチ機能と表示モード一覧を記載してありますのでご覧下さい。



表示モード

【 】 リアル表示

リアル表示は取り付けしたセンサーから得られる車輛のデータをダイレクトに表示する画面です。本製品を車輛に取り付けて何も操作を行わなければリアル BOOST 表示となります。センサーを取り付けていないデータに関しては0表示となります。参考例として、以下にリアル表示画面の例を記載します。

TEMP 画面表示では、画面上にその温度単位()は表示されません。



リアル BOOST 表示



リアル TEMP1 表示



リアル TEMP2 表示



リアル PRESS 表示

【 】 ピーク表示

ピーク表示はリアル表示画面で UP スイッチを一回押すと画面の左上方に PEAK のセグメントが表示され、ピーク値を表示します。参考例として、以下にピーク表示画面の例を記載します。



ピーク BOOST 表示



ピーク TEMP1 表示



ピーク TEMP1 表示



ピーク PRESS 表示

ピーク値は自動で更新されますが、ピーク値のリセットは手動操作を行って下さい。

現在表示リセットはピーク表示画面で DOWN スイッチを一回押して下さい。リセット完了を知らせる電子音(ピッ)でリセット完了になります。

表示項目以外(BOOST 表示の場合、その他(TEMP1、TEMP2、PRESS に当たります)の全てのピーク値をリセットする場合は、ピーク表示画面で DOWN スイッチを長押しして下さい。リセット完了を知らせる電子音(ピーッ)でリセット完了になります。

【 】 ワーニング表示

ワーニング表示はリアル表示画面で UP スイッチを2回押すとピーク表示画面を表示してからワーニング表示画面を表示します。

ワーニングの表示形式または設定の方法等に関しては13ページのにて詳しく説明しますので、そちらをご覧ください。

ワーニング設定

【 】 ワーニングインジケータモード設定

レーシングモニターDC は、ワーニングの表示がセグメントモードとキャラクタモードの2パターンから選択できます。

SELECT スイッチを押しながら電源を入れると、画面に【CHG】と表示されてワーニングインジケータの設定待機画面に移行します。

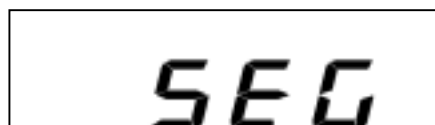
SELEST スイッチは【CHG】と表示されるまで押し続けて下さい。

画面に【CHG】と表示中に DOWN スイッチを押すとセグメントモードに設定され、セグメントモード設定完了画面を一瞬表示してから前回イグニッションをOFFにした時、表示をしていた画面に戻ります。

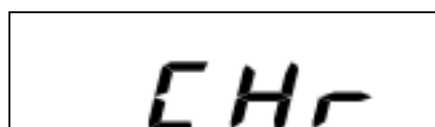
同様に、画面に【CHG】と表示中に UP スイッチを押すと一瞬キャラクタモード設定完了画面を表示して前回の表示画面に戻ります。



ワーニングインジケータ設定待機画面



セグメントモード設定完了画面



キャラクタモード設定完了画面

【 】 ワーニング設定

ワーニング設定はワーニング表示画面で DOWN スイッチを1回押して下さい。画面の右上部に SET の表示がされてセグメントが点滅します。

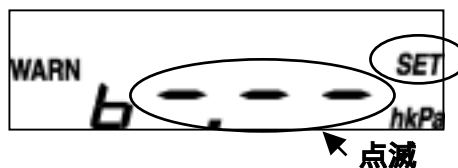
この時、画面の色が赤に変わります。

セグメントが点滅している状態で、UP スイッチと DOWN スイッチを操作して設定値に合わせて下さい。

図では BOOST ワーニング設定画面を表示していますが、TEMP 1,2 及び PRESS の Hi, Low も同様にして設定を行って下さい。

数秒間、何も操作を行わないと自動的にセットされます。

図の様に何も数値が入力されていない状態ではワーニング OFF と設定されます。



【 】 ワーニングの表示

車輿走行中にワーニングが働くと現在何のワーニングが働いているかを知らせる表示が画面に表示されます。

・ セグメントモード表示

セグメントモードの場合は、WARN の表示の上に BST のアルファベット表示と WARN の表示の下に数字が表示される事によって現在働いているワーニングが何かを認識できます。

また、複合ワーニングの場合は複合表示となります。

詳細は、『セグメントモード時の表示例一覧』を参照して下さい。

BST:BOOST ワーニング 1:TEMP1ワーニング 2:TEMP2ワーニング
3:PRESS Low ワーニング 4:PRESS Hi ワーニング

セグメントモード時の表示例一覧



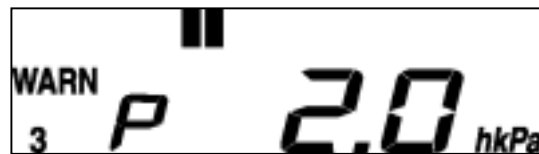
リアル BOOST 表示中のワーニング表示



リアル TEMP1 表示中のワーニング表示



リアル TEMP2 表示中のワーニング表示



リアル PRESS 表示中の PRESS Low ワーニング表示



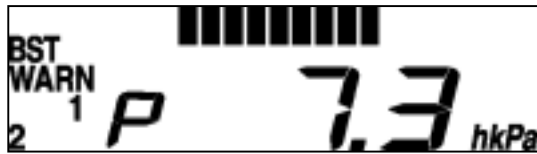
リアル PRESS 表示中の PRESS Hi ワーニング表示



リアル PRESS 表示中の BOOST ワーニング表示



リアル TEMP2 表示中の PRESS Low ワーニング表示



リアル PRESS 表示中の BOOST、TEMP1、TEMP2
の複合ワーニング



リアル BOOST 表示中の TEMP1、PRESS Hi
の複合ワーニング

[2] キャラクタモード表示

キャラクタモード表示の場合は各モード表示に関わらず画面に大きくワーニング表示をします。

セグメント表示と同様に、複合ワーニングも対応表示します。

詳細は『キャラクタモード時の表示例一覧』を参照して下さい。

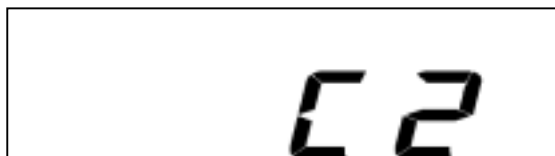
キャラクタモード時の表示例一覧



BOOST ワーニング



TEMP1ワーニング



TEMP2ワーニング



PRESS Hi ワーニング



PRESS Low ワーニング



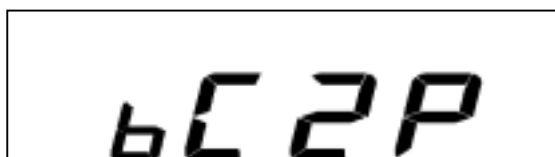
TEMP1、2の複合ワーニング



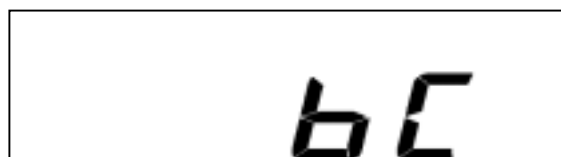
BOOST と PRESS の複合ワーニング



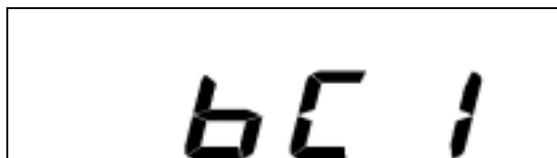
BOOST、TEMP1、PRESS の複合ワーニング



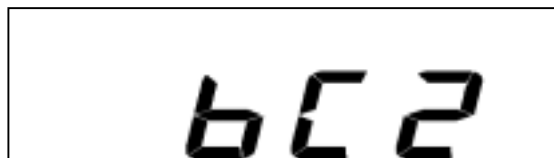
BOOST、TEMP2、PRESS の複合ワーニング



BOOST、TEMP1、TEMP2の複合ワーニング



BOOST、TEMP1の複合ワーニング



BOOST、TEMP2の複合ワーニング



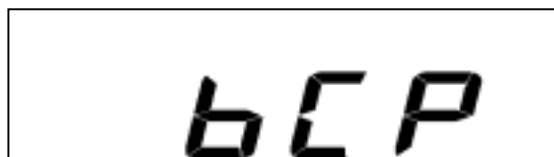
TEMP1、PRESSの複合ワーニング



TEMP2、PRESSの複合ワーニング



TEMP1、TEMP2、PRESSの複合ワーニング

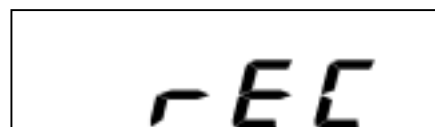


BOOST、TEMP1、TEMP2、PRESSの複合ワーニング

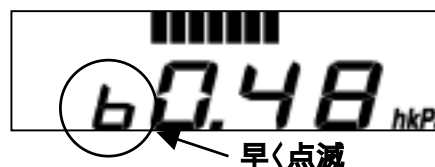
セグメントモードもしくはキャラクタモードのどちらの場合でも PRESS ワーニング設定は、必ず PRESS Hi ワーニング設定を PRESS Low ワーニング設定よりも高く設定して下さい。逆に設定(Hi < Low)や PRESS Hi ワーニング設定値と PRESS Low ワーニング設定値を同じ(Hi = Low)にすると PRESS ワーニングは作動しません。

レコードリンク機能

走行状態を記録する時は、リアル表示画面にて DOWN スイッチを1回押すと記録開始音(ピッ)と共に rec が表示され、リアルモード表示を表すアルファベットセグメントが早く点滅して記録を開始します。



記録時間は約90秒間記録できます。記録が終了する時にはリアルモード表示を表すアルファベットセグメントの点滅が終了して、記録終了音(ピーッ)が鳴ります。



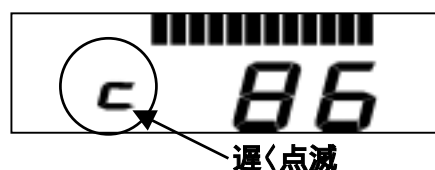
記録途中で記録を終了させる場合は DOWN スイッチを1回押して下さい。記録途中終了音(ピッピーッ)が鳴り、リアルモードを表すアルファベットセグメントが点滅を終了して記録を終了します。

リプレイリンク機能

記録したデータを再生する時は、リアル表示画面にて DOWN スイッチを長押しして下さい。Ply の表示と再生開始音(ピーッ)が鳴り、再生を開始します。



再生中はリアルモード表示を表すアルファベットセグメントがゆっくり点滅します。



再生中に SELECT スイッチを押すと記録されている表示モード(BOOST、TEMP1等)に変更されて記録状況を見る事が出来ます。

再生途中で再生を終了させる場合は DOWN スイッチを1回押して下さい。再生途中終了音(ピッピーッ)が鳴り、リアルモードを表すアルファベットセグメントが点滅を終了して再生を終了します。

LED 輝度調整

レーシングモニターDC は、画面の明るさを調整する事が出来ます。



調整の仕方は、表示画面が OFF の時に UP スイッチもしくは DOWN スイッチを操作する事で0 (消灯) ~ 100の数字と同調してバーグラフの変化が表示されるので、画面の明るさと数字を確認しながら設定して下さい。



数値が小さければ暗く、大きくなれば明るくなります。

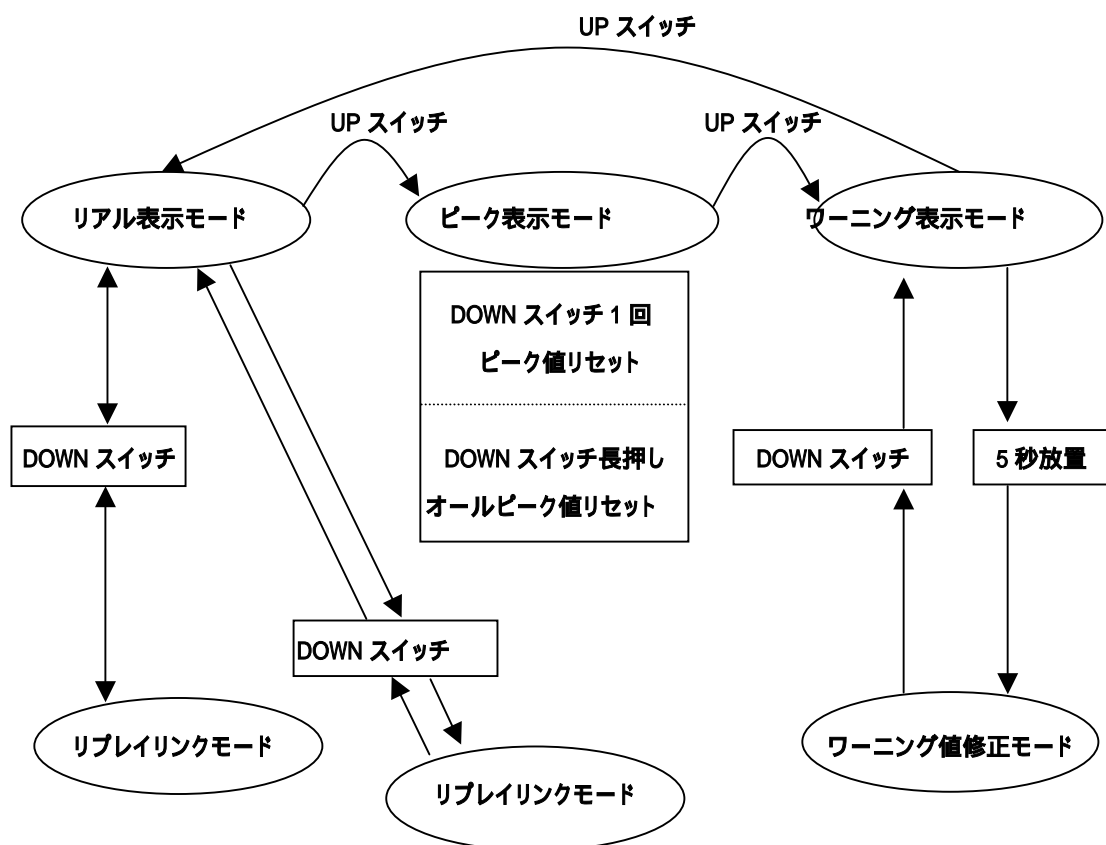
オールリセット

全ての設定や記録値を初期設定値に戻すことができます。

OFFモード中(画面にOFFと表示されている間、又は画面消灯中)に、UPスイッチとDOWNスイッチを約1秒間同時に長押しすると、輝度数値表示後にオールリセット完了を知らせるブザー(ピーツ)が鳴り、画面が初期画面になり、設定値も初期値に戻ります。約3秒間の初期画面表示の後、リアル表示画面になりますので、再度使用する場合は車両に合った初期設定を行って下さい。

注意 上記以外の操作を行った場合、製品の故障の原因となりますので、必ず本取り扱い説明書に沿った取り扱いを行って下さい。

表示サイクル詳細モデル図



スイッチ機能と表示モード一覧

モード		SEL スイッチ	DOWN スイッチ	UP スイッチ	LCD表示	バーグラフ 表示
BOOST 圧表示	BOOST 圧	表示モードを保持したまま TEMP 1 表示へ移行	短押しで記録開始	BOOST 圧	b : BOOST 圧	BOOST
	リアル表示		長押しで再生開始	ピーク値表示へ移行	h k P a	リアル値
	BOOST 圧 ピーク値 表示		BOOST 圧 ピーク値クリア 長押しで 全ピーク値クリア	BOOST 圧 ワーニング値表示へ	b : BOOST 圧 h k P a	BOOST リアル値
	BOOST 圧 ワーニング値 表示		ブースト圧 W A R N 値 修正へ移行	BOOST 圧表示へ移行	b : BOOST 圧 h k P a	BOOST リアル値
BOOST 圧 ワーニング値 修正		ワーニング値 DOWN 5 秒放置で ワーニング値表示へ 戻る	ワーニング値 UP 5 秒放置で ワーニング値表示へ 戻る	b : BOOST 圧点減 h k P a S E T 赤 L E D	なし	
TEMP 1 表示	TEMP 1	表示モードを保持したまま TEMP 2 表示へ移行	短押しで記録開始	TEMP 1	C : TEMP 1	TEMP 1
	リアル表示		長押しで再生開始	ピーク値表示へ移行		リアル値
	TEMP 1 ピーク値 表示		TEMP 1 ピーク値クリア 長押しで 全ピーク値クリア	TEMP 1 ワーニング値表示へ	C : TEMP 1	TEMP 1 リアル値
	TEMP 1 ワーニング値 表示		TEMP 1 ワーニング値修正へ 移行	TEMP 1 表示へ移行	C : TEMP 1	TEMP 1 リアル値
TEMP 1 ワーニング値 修正		ワーニング値 DOWN 5 秒放置で ワーニング値表示へ 戻る	ワーニング値 UP 5 秒放置で ワーニング値表示へ 戻る	C : TEMP 1 点減 S E T 赤 L E D	なし	

モード		SEL スイッチ	DOWN スイッチ	UP スイッチ	LCD表示	バーグラフ 表示	
TEMP 2 表示	TEMP 2 リアル表示	表示モードを保持したまま PRESS 表示へ移行	短押しで記録開始	TEMP 2	C : TEMP 2	TEMP 2	
			長押しで再生開始	ピーク値表示へ 移行		リアル値	
	TEMP 2 ピーク値 表示		TEMP 2 ピーク値クリア	TEMP 2		C : TEMP 2	TEMP 2 リアル値
			長押しで 全ピーク値クリア	TEMP 2 ワーニング値表示へ 移行		C : TEMP 2	リアル値
	TEMP 2 ワーニング値 表示		ワーニング値修正へ 移行	TEMP 2 表示へ移行	C : TEMP 2	TEMP 2 リアル値	
	TEMP 2 ワーニング値 修正		ワーニング値 DOWN 5 秒放置で ワーニング値表示へ 戻る	ワーニング値 UP 5 秒放置で ワーニング値表示へ 戻る	C : TEMP 2 点減 S E T 赤 L E D	なし	
PRESS 表示	PRESS リアル表示	表示モードを保持したまま OFF へ移行	短押しで記録開始	PRESS	P : PRESS h k P a	PRESS	
			長押しで再生開始	ピーク値表示へ 移行		リアル値	
	PRESS ピーク値 表示		PRESS ピーク値クリア	PRESS		P : PRESS h k P a	PRESS リアル値
			長押しで 全ピーク値クリア	PRESS PRESS 表示へ移行 ワーニング値修正へ 移行		P : PRESS h k P a	PRESS リアル値
	PRESS ワーニング値 表示		ワーニング値 DOWN 5 秒放置で ワーニング値表示へ 戻る	ワーニング値 UP 5 秒放置で ワーニング値表示へ 戻る	P : PRESS 点減 h k P a S E T 赤 L E D	なし	
	PRESS ワーニング値 修正						
OFF		表示モードを保持したまま ブースト圧表示へ 移行	LED 輝度 DOWN 5 秒放置で 表示が消える	LED 輝度 DOWN 5 秒放置で 表示が消える	0 ~ 1 0 0	輝度	

故障と思う前に

故障と判断する前に下記の点をもう一度確認してください。

【配線ミスやコネクターの挿し込みは確実ですか？】

【電源は確実に12Vとれていますか？】

場所によっては走行したり他の電子機器が作動すると電圧降下を起こし本体が正常に作動しない事があります。

【アース線(黒色線)は確実にボディーアースしていますか？】

塗装がのっていたり走行中の振動などでアース不良を起こすと本体が正常に作動しない事があります。

【エレクトロタップ等は確実に導線していますか？】

エレクトロタップは正しい工具で確実に噛み込みして下さい。

しっかり噛み込んでいないと本体が正常に作動しない事が有ります。

また、車輛火災の原因や怪我等の原因になりますので、しっかり確認して下さい。

【操作方法は正しいですか？】

もう一度本説明書をよく読み確認してください。

**上記項目をご確認いただき本製品が正常に作動しない場合は、本製品の使用を中止し
てお買い上げ販売店もしくは弊社までご連絡下さい。**

装着可能自動車と製品の仕様

装着車種:電源回路がDC12V車

製品名称:RACING MONITOR DC

製品番号:19271 / 19273

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

連絡先 (株)ブリッツサポートセンター TEL 0422-60-0515

住 所 東京都西東京市新町4-7-6 FAX 0422-60-0521

URL <http://www.blitz.co.jp/>